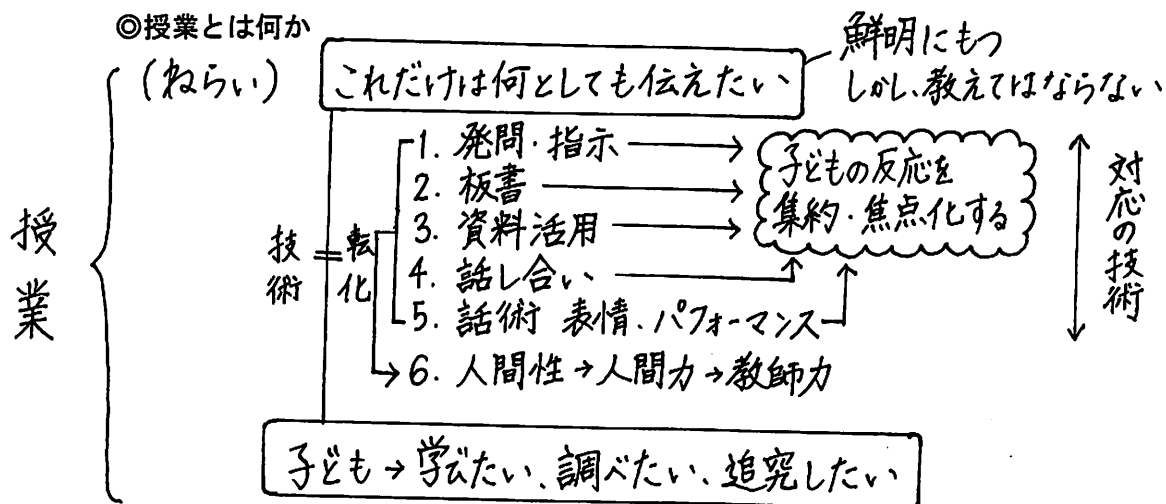


## 「面白い授業を作るために」

杉下 絵里華



「社会科 授業作りの教科書 5・6年」 著書：有田和正 より

### ◎面白くない授業とは

- ・じっと座っているだけの“修行”のような50分
- ・もう少しで答えが出そうなときに先生が答えを言う
- ・結論が出ないまま終わってしまう
- ・指示されたことを黙々とこなすだけのベルトコンベア型
- ・発表しても、先生からちゃんとしたコメントをもらえず、放置されたまま
- ・発表する人がいつも同じ
- ・内容が理解できず、ついていけない
- ・今それについて学ぶ意味を見いだせない (実用性がない)
- ・受験のための塾のような知識叩き込み型授業

### ◎どうしたら授業が面白くなるか(現時点での考え)

- ・個人個人を大事にする → ○付け法の実践等
  - ・子ども主体の授業をする → ディベート、グループ活動
  - ・子どもが考えたいネタ、ゆさぶりの質問を用意する
- 子どもの常識を覆すもの  
新しい発見のあるもの  
自分の生活と関係のある、身近なもの